

## ① つつま自然の森 (現・中央林間自然の森)



【受賞理由】  
大和市の市街化以前の林地環境(里山)が残されている。民有地ではあるが、そこを開放しているところがとてもいい。内山地区を象徴する農村風景の道を通じて、開放感あふれる空間になっている。

現在も、受賞時の空間が維持されている。

## ② 中央林間3-24-3~10、3-28-20~26の街並み



【受賞理由】  
通りの両側は、緑豊かで個性に富んだ低層の住宅地で、林間都市のイメージを保持し優れた街並みが形成されている。建物は、かつての「将校ハウス」として、シンプルではあるが、好意の持てるたたずまいとなっている。

現在も、受賞時の街並みが維持されており、写真の住宅のほかにも、外国に運い込んだような個性豊かな住宅が並ぶ一角となっている。

## ③ FLAT HOUSE cafe



【受賞理由】  
旧米軍科校の建物をリフォームして使っており、佇まるといふ点で大変優れている。その控え目な装いは安心にも似た温かい雰囲気が感じられ、「街の公民館」としてのにぎわいもうかがえる。大和の歴史を伝える財産の一つだろう。

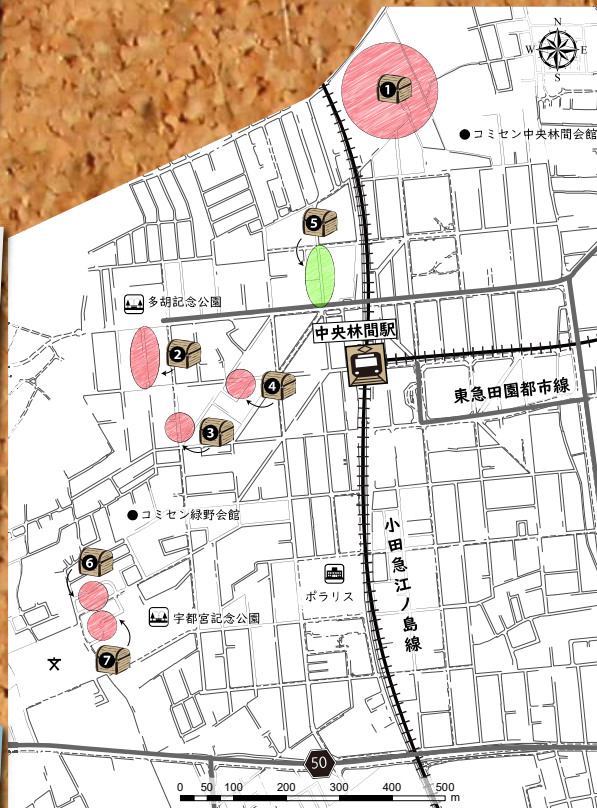
現在も、受賞時の空間が維持されており、古いものに丁寧に手を加えながら営業を続けるスタッフの皆さんの姿勢が、お店の温かさを魅力につながっている。

## ④ 「環境共生型の商業ビル」 (アーキテクト)



【受賞理由】  
コンクリート打ち放しの外壁と樹木が調和し、林間イメージにふさわしいおしなやかに文化的な香りのする建築デザインとなっている。また、施設内では有志による勉強会が開催されるなど、交流の場としても地域に親しまれている。

建物の外観に変異があり、樹木も減少しているが、林間イメージが残されている。オーナーのこだわりが詰まった建物は、時間が経っても変わらぬ新鮮な魅力に溢れている。建物内には飲食店もあり、人々が集う空間である。



# 中央林間エリア!

## ⑤ 中央林間5丁目界隈



【受賞理由】  
周辺にあるそれぞれのお店では、常に観望してもらいながら個性をさりげなくアピールしている。一連の街並み、商店街として温かい雰囲気をつくり出している。

現在も、受賞時の街並みがほぼ維持されており、変わった店舗もあるが、駅前らしい商業施設は対照的に、昔ながらの温かみのある商店街の雰囲気がある。

## ⑥ 小田急コートアベニュー中央林間



【受賞理由】  
統一されたデザイン、幅のない街並み、曲線を取り入れた区画街路により開放感ある空間を創り出している。

現在も、受賞時の街並みがほぼ維持されており、道路の曲線と、厚のない圧迫感のない空間、それぞれの住宅を彩る緑が続き、心地よく歩ける街並みとなっている。

## ⑦ プラウドシーズン中央林間



【受賞理由】  
36戸の街区の中央にゆるやかに屈曲する道を配し、街並みに変化を生み出す等、空間形成の工夫が見られる。また、屋根や外壁の材質、色彩、開放的な外構などにも統一感が表れている。

現在も、受賞時の街並みがほぼ維持されており、緩やかな曲線を描く道路の周りは柔らかな色彩で統一された住宅が並び、庭木も美しく手入れされている。

### ①セ・パルレ中央林間



【受賞理由】  
緑間の森に向かって通り抜ける通路や既存の樹木を多く残した外部空間の造り、建物の重圧感を軽減させるデザイン上の工夫など、これからの大規模マンション整備のあり方への手本を示している。

現在も、受賞時の空間が維持されている。  
(※写真は受賞当時のもの)

### ②石窯工房ベルベ中央林間店



【受賞理由】  
民間の店舗でも景観的に素晴らしい街角を作り出していることが評価できる。建物のデザインに個性を感じられ、街の上手いアクセントとなっているなど、大変魅力的な店舗となっている。オープンテラスを設置し、上手く街角を演出できているので、植栽を増やし華やかさを出すなどの工夫に期待したい。

現在も受賞時の空間が維持されており、オープンテラスを備えた、木が印象的な温かな雰囲気の建物は、楽し魅力ある街角を演出している。

### ③ラ・パレット (現・メゾンジブレー)



【受賞理由】  
建物を低層におさえ、駐車場のスペースを広くとり、外構をオープンにするなど、空間にゆとりを持たせている。石造り風の落ち着いた建物のデザインは、センスが良く、また、植栽も効果的に配置しており緑豊かな住宅地のイメージに合っている。

建物は受賞時のまま残っているが、現在は、メゾンジブレーというパティスリー(洋菓子専門店)である。店舗は変わっても、建物の可愛らしい雰囲気を活かし引き継いでいる素敵なお店である。

### ④JACK & BETTY (現・サンラッキー中央林間店)



【受賞理由】  
従来の駅前のパンコ店という、決して高い施設として評価されるものではないが、当パンコ店は、中央林間という市を代表する良好な住宅地の玄関口の品位を落とさず、むしろ街並みと調和した落ち着いたデザインとなっている。さらに、地域住民の要望を計画に反映するなど、まちづくりに貢献されがちなパンコ店が、まちづくりに積極をもって接してきた好例となっている。

受賞時から外観デザインが大きく変わっているが、二重ドアによる店内の音漏れ対策や壁面緑化、駐輪場設置により道路に対してゆとりがある等、配慮が感じられる走りになっている。

### ⑤グリーンやまとプロジェクト実行委員会



【受賞理由】  
まちをキレイに保つという意図が看板全体に表れ、バス停風の都的なデザインも周辺の景観にマッチしていい。サインそのものが美観を損ねるものにならぬよう、さりげないデザインになっている点はよく考えられている。周辺の建物と調和がよくとれていて、わかりやすい看板としての目的を果たせている。

アダプトプログラム(市もサポート)を行う市民のボランティアによる環境美化活動により、現在も良好な景観が維持されている。

### ⑥東急ストア (現・東急スクエア)

#### 中央林間店 店舗北側空間

【受賞理由】

店舗北側のセットバック空間を公園空間とし、歩道と一体となった整備により、緑豊かな良好な歩行者空間を創出している。店舗の一階部分をガラス窓(レストラン)にすることにより、室内との連続性を適度に確保され、また、夜間景観の美しさも高めることとなっている。歩道部分は維持管理の状況も良く、快適な歩行者空間が創出されている。



現在も、受賞時の歩行者空間が維持されている。車道とは線で区切られ、東急スクエア1階のガラス張りのカフェの店内とのつながりが感じられる、歩いていい気持ちの良い空間である。

### ⑦富塚邸「古き中央林間の面影を残す庭」



【受賞理由】

低い生垣越しに、とても広い庭全体が見渡せる。豊富な庭木の配置も的確で樹木園の趣を呈している。林間都市開発による分譲当時の佇まいを残す貴重な空間といえる。通行人にも心安らく豊かな空間だが、さらに四季折々に花を付ける木々などによって、すばらしい街並みをとり出すだろう。

植物が大きくなりすぎないように、ご自分で手入れされているなど、植物の成長を巧みにコントロールし、受賞時の空間を維持するべく努められている。

### ⑧大和市消防北分署



【受賞理由】

消防署建築にありがちな、無表情で威圧感の強いイメージを一掃し、シャッターに火消しの羅(まどい)や半鐘(はんねん)のイラストを描くなど、形や色彩の工夫により、市民に身近な公共建築として親しまれている。

現在も、受賞時の空間が維持されている。

### ⑨日本アイビーエム(株)大和事業所

#### (現・三機工業(株)三機テクノセンター)



【受賞理由】

広大な敷地に、きめ細かく配置された緑とシンプルな建物、周囲に配置された緑地が良好な景観を形成している。

現在、別企業の研修施設となっているが、当時と変わらぬ落ち着いた景観である。

### ⑩三機自然環境園(ビオトープ)

#### 〈三機工業株式会社大和事業所〉 (現・三機環境園)



【受賞理由】

工業系の街並みの中に、大和の自然環境を身近に感じ、体験できる『自然環境園』がつけられた。事業所の私有地を放棄できよう市民に開放した取組みが高く評価される。

現在は、新たに「三機環境園」として設置されている。以前より広くなった緑地には印象的な滝が設置されるなど魅力がふくれ、周辺住民や子ども達が訪れる、地域の憩いの空間となっている。



# 中央林間エリア2

### ①横浜うかい亭



【受賞理由】  
和風を基調とした瓦屋根の建物や重厚な門扉などの質の高いデザインは、周辺住宅地とも調和し、街並みに風格を与えている。

現在も、受賞時の景観が維持されている。

### ②つきみ野7-18-9~28の街並み



【受賞理由】  
個性ある家々が連続しているが、緑豊かな庭先が街並み全体を調和させている。また、通りが程良いカーブを描き、建物の配置等にも工夫が見られるため、心地よいリズム感のある街並みを形成している。これらの街並みは、つきみ野地区の住宅地のイメージをリードするものとなっている。

現在も、受賞時の景観が維持されている。

### ③「角と丸の調和」長谷川邸



【受賞理由】  
開放的な玄関先に、円形を取り入れた親しみの感じられる門がデザインされている。木のすずしやレンガの外構は、手作り感で温かみのある景観を生み出している。

一部外観が変更されているが、現在も受賞時の景観が維持されている。

### ④「境界領域の見事な演出」



【受賞理由】  
公道との境界にある数石や樹木、野草の連続が、建物の外壁の色彩や曲線を描く生垣とあいまって、バランスの良い見事な空間を創り出している。

現在も、受賞時の景観が維持されている。  
(※写真は受賞当時のもの)

### ⑤「なかよしの像」『さんぽ』安藤泉作



【受賞理由】  
交通量の多い喧騒な幹線道路沿いだが、ゲート性の高い形態と微笑ましい子供達の像は、桜の散歩道の入口に相応しい心安らぐ空間を創出しており、多くの市民に愛されてきた広場となっている。

現在も、受賞時の景観が維持されており、遠くからも目を引く印象的な像である。

### ⑥北島生花店



【受賞理由】  
住宅街の角地に面してゆとりのある土地利用がなされている。セットバックしたスペースに花を並べ、通行人を来ませている。また、建物も明るく軽快に仕上げられている。周辺の住宅地の街並みに上手く溶け込んだ店舗としての好事例といえる。

受賞時の景観が維持されており、落ち着いた住宅街の雰囲気を調和し、オーナーのセンスを感じさせる魅力的な店舗である。

### ⑦山谷北土地区画整理事業



【受賞理由】  
電線の中世化など、安全性・景観への配慮が感じられ、計画的な街づくりの良い事例として評価する。今後は、周辺景観との調和などに期待したい。

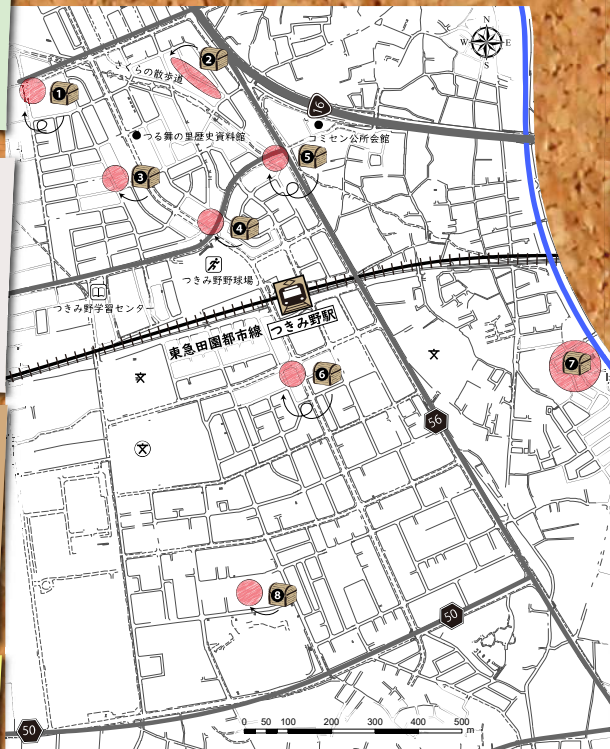
現在も、受賞時の景観が維持されている。

### ⑧ルグランつきみ野・つきみ野ガーデンア



【受賞理由】  
周辺の閑静な住宅街に溶け込むような集合住宅であり、落ちつきのある色彩や隅々まで行き届いた細やかなデザインは、地域の景観イメージを良い方向に高めている。駐車場も低層化の工夫や中庭のデザインなど総じて評価すべき点は多く、地域の景観をリードしている。

現在も、受賞時の景観が維持されている。  
(※写真は受賞当時のもの)



# つきみ野エリア